

緑化だより

No.37 平成21年4月号



ハナカイドウ 平成20年4月26日撮影

- 虹色きのこ
- 植物と歴史
- 花だより

- 研修会・イベント報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



虹色きのこ

(1) 赤色

七色の虹のようにきのこも美しい色合いのものがあります。今月から虹を構成している色のきのこをとりあげます。最初は赤です。

ベニイグチ(紅猪口)

傘と柄は赤色で美しいきのこです。柄には網目模様がありまさに自然の造形美。どうやってこのような模様ができあがるのでしょうか。傘の裏はひだではなく管孔といって細かい穴がたくさんあり黄色で、赤色との対比がまた美しいのです。9月ごろ発生し、食毒不明です。



ベニイグチ

ベニチャワンタケ(紅茶碗茸)

最初は、真っ赤な花びらが落ちているものと見間違えるほどです。鮮やかな紅色です。外面には白色綿毛状の菌糸があります。春に発生し、食毒不明です。



ベニチャワンタケ

カエンタケ(火炎茸)

まさにその名のとおり、まるで地面から炎があがっているように見えます。硬くて食べられません、それでも無理やり食すると死に至るような猛毒の成分が含まれています。見て楽しみましょう。



カエンタケ

植物と歴史

『地球と植物』

現代の科学で予測した地球は、約 46 億歳だと推測されています。その後、地表は冷え、比較的早い段階でこの星に単細胞生物が現れたと考えられています。それから 10 億年の内に、細胞呼吸の発展にとって必要な条件が整い、光合成が発生し地球の大気を急速に変えていったと考えられています。

次の 20 億年の間に基礎的な細胞の仕組みが全て発達し、最初のウィルスが現れたものと推測しています。そして、今から 10 億年前に単純な多細胞の植物・動物が海に現れました。最初の植物・動物の出現のすぐ後に「カンブリア紀の爆発」と呼ばれる期間があり、この時期に現代の全動物の体制(門)のほとんどが見つかっています。

約 4 億 4 千万年前に光合成により紫外線などがとどまらなくなった地上に植物と菌類が進出し、直ぐに節足動物や他の動物が続き、地上の生態系が形作られていきました。また、ちょうどこのころから、地上の 1 つの大陸はマントル現象により、大陸の分割運動が始まりました。(次回は、植物進化について)

花だより

レンギョウの仲間 モクセイ科レンギョウ属

以前、早春に咲く花は黄色が多いと紹介しましたが、今回紹介するレンギョウもその中の一つです。レンギョウと言っても、実際にはレンギョウ・チョウセンレンギョウ・シナレンギョウ・ヤマトレンギョウ・ショウドシマレンギョウなどがあり、県内に自生しているものはヤマトレンギョウのみで広島県の絶滅危惧種に指定されています。その他は植栽されたもので、園芸品種も多く植栽されています。

センターには、レンギョウ・チョウセンレンギョウ・ヤマトレンギョウがあります。

レンギョウは、中国原産で別名：レンギョウウツギとも言い、枝の切断面は節を除いて中空です。枝はよく伸びて下垂し、地面につくと発根します。葉は3出複葉が混じります。

チョウセンレンギョウは、朝鮮半島原産で赤味がかった濃い黄色の花で、花柱より雄しべが長く、枝の縦断面に仕切りと薄板があります。幹は弓状に曲がり、直立は少ないです。

ヤマトレンギョウは花数が少なく、葉裏の脈上に毛があります。枝の髄ははしご状(薄板状)になります。広島・岡山の石灰岩や岩場などで自生しています。

レンギョウは、“連翹”と書きますが、本来はレンギョウ及びシナレンギョウの成熟果実を乾燥したものを『連翹』と称し、消炎・利尿・解毒薬として利用されています。チョウセンレンギョウは品質が劣っているそうです。



チョウセンレンギョウ 花柱より雄しべが長い



チョウセンレンギョウ 枝の縦断面に髄



レンギョウ 枝の縦断面は中空

研修会・イベント報告

3月1日(日) 『ジャンボしいたけ植菌教室』

「ジャンボしいたけの植菌教室」を開催しました。研修は前半をしいたけ生産の現状、含まれる栄養成分、原木の伐採時期、植菌、植菌後の管理等の講義を受け、後半は屋外で植菌の実技指導を受けました。現在、国内で生産されているしいたけの約70パーセントは菌床栽培(オガクズを固めたものに植菌してしいたけを発生させる)で原木栽培約30パーセントしかないそうです。また、しいたけは野菜の煮物とか中華料理に使われていますが食物繊維やビタミンB2多く含んでおり、カルシウムの吸収を助けたり、癌細胞を抑制する成分も含まれているそうです。

講義後、外に出て、原木にドリルで穴を開け、ジャンボしいたけの菌を植菌しました。一般的なしいたけは、春に植菌し2年目の秋から発生しますが、この菌は初年度から発生します。その上、肉厚で高品質の「どんこ」(傘が丸みをおび厚手のしいたけ)がとれるという特徴を持っています。ほだ木が乾燥しないよう適切に管理すると、今年の秋にはジャンボしいたけが発生するのではと思います。



3月1日:ジャンボしいたけ植菌教室

研修会・イベント紹介

- 4月2日(木)『早春の花を見て歩こう』10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:緑化センター職員 正本 良忠
早春に咲いている花を中心に園内で植物観察を行います。
- 4月7日(火)『春の写真教室』10:00～12:00 学習室集合
講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生
花を上手に撮影するポイントなど講師から説明を受けた後、園内で実際に撮影会を行います。ソメイヨシノを中心に春の花を撮影してみませんか。
- 4月10日(金)『4月の自然探勝』10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:広島大学名誉教授 石橋 昇 先生
- ◎4月11,12日(土,日)『みんなで桜を楽しもう』10:00～ レストハウス前
樹木当てクイズやリール回し、和太鼓の演奏や寄植教室などを開催します。
- 4月19日(日)『愉快的植物雑学と八重桜めぐり』10:00～12:00 学習室集合
講師:森林インストラクター 長井 稔 先生
前半は、植物について雑学を学び、後半は八重桜を中心に植物観察を行います。
- 4月21日(火)『はじめてのデジカメ教室』10:00～12:00 学習室集合
講師:写真家 大藤 哲己 先生
デジカメを上手に使いこなしたいと考えている初心者の方を対象にコンパクトデジタルカメラの使い方や撮影のコツなどの講習会を行います。質問もなんでも受け付けます。
- 4月23日(木)『山菜を学んで食べよう』10:00～12:00 学習室集合
講師:広島県森林インストラクター 尾崎 征生 先生
- ◎4月29日(水・祝)『みどりの集い』10:00～15:00 多目的広場
みどりの恵みに触れるイベントなど様々な体験コーナーや販売コーナーもあります。カブトムシ幼虫探しや木工教室などお子様から大人まで楽しめます。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス
 - 緑化センターのサクラ写真展 4月1日(水)～4月22日(水)
センター内で見ることのできるサクラの写真を展示します。
 - 木の実を使った作品展 4月1日(水)～5月9日(土)
木の実や木の枝で作られた動物や怪獣などを展示
- ◎ さくら祭りについて
4月1日(水)～4月30日(木)まで『さくら祭り』です。期間内は様々な研修会やイベントを実施いたします。サクラを中心とした春の花と共にお楽しみ下さい。
- ◎ 平成21年度『春の写真コンクール』について
『写真コンクール』を春と秋の2回、開催します。『春の写真コンクール』は4月1日～6月26日まで受け付けています。初心者の方も大歓迎です。参加賞もありますので、皆様のご応募お待ちしております。